

継続的な原子力安全向上のための 自律的なシステムの構築に向けて

2017年6月6日
(一社)日本原子力産業協会

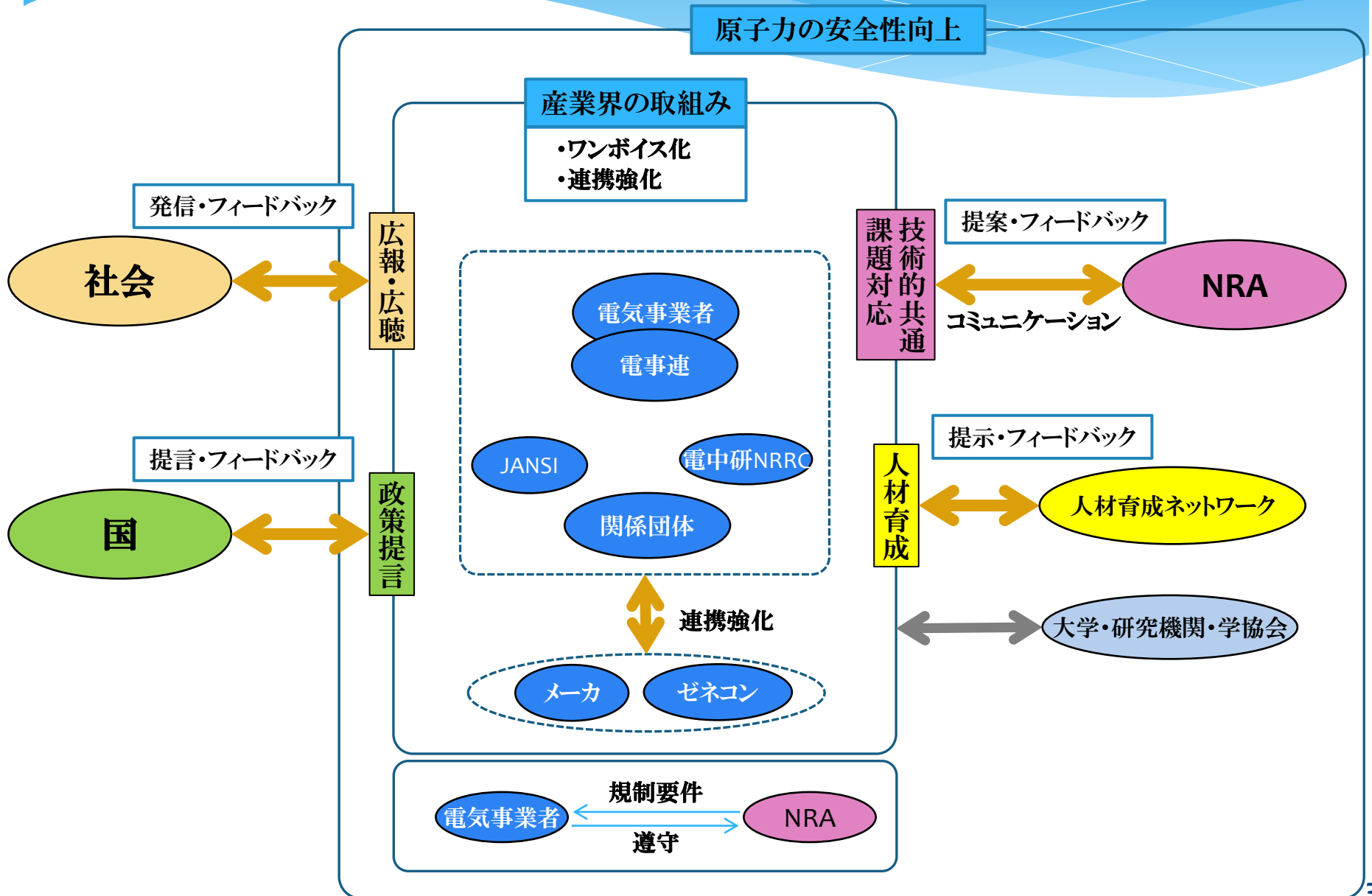


自律的なシステム構築の必要性

環境変化を踏まえ、将来にわたり原子力の健全な維持・発展により社会に貢献するビジョン達成に向け、産業界が透明性・ワンボイス化を図りながら、一丸となって取り組む必要がある。

このために、米国NEIの事例を参考に、自主的安全性向上に継続的に取り組む「自律的システムの構築」が不可欠。

【自律的システムのイメージ】



【自律的システムの機能】

広範な課題解決に向けリーダーシップの発揮

自律的システム

アジェンダの設定

- 課題の共有
- 課題解決の優先順位付け
- 課題解決の方向性＜方針＞
- 活動の計画と統制

方針

技術的共通
課題対応

方針

広報・広聴

方針

政策提言

方針

人材育成

環境変化

- 電力自由化の進展
- 福島事故後の稼働基数の低下と廃炉基数の増加
- 輸出プロジェクト計画が進展
- サプライチェーンの維持が困難
- 人材確保が困難に
- 原子力発電に対する信頼低下
- 教育・研究環境の縮小
- 地球環境保全を踏まえた低炭素社会への世界的要請

技術的共通課題対応

方針



技術的共通課題
対応機能

- ・専門能力の強化
- ・ワンボイス化

提案(透明性、客観性)

コミュニケーション
(科学的・技術的議論)

フィードバック

NRA

期待事項

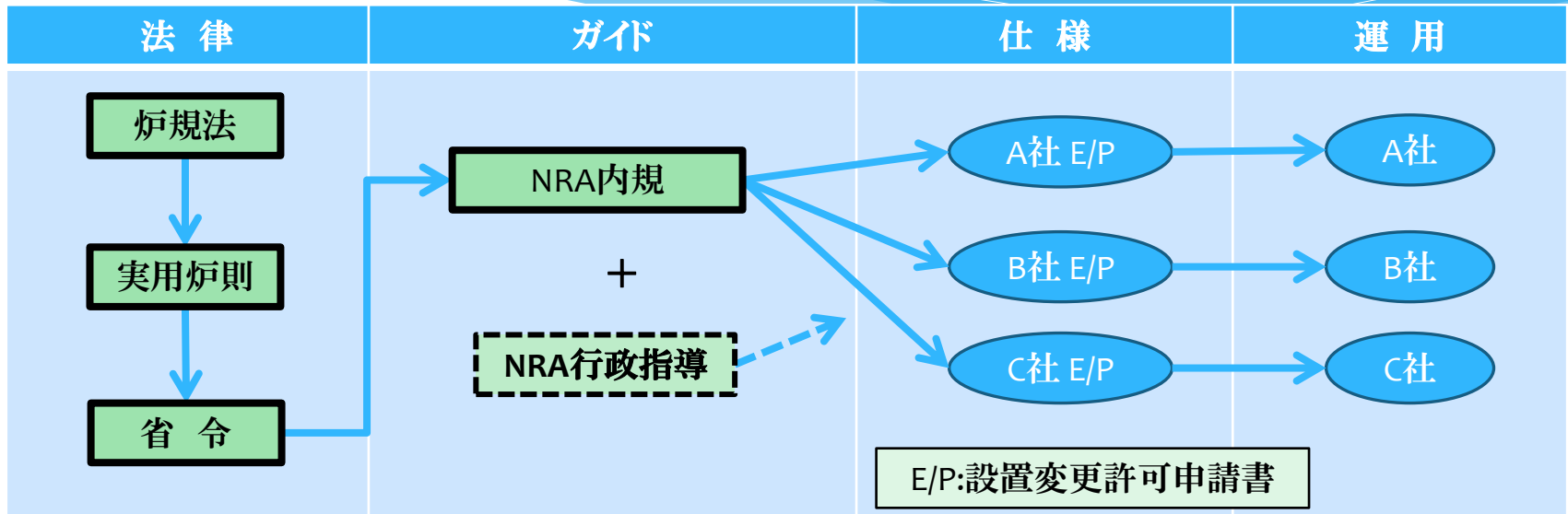
- ・より科学的
- ・より実効的
- ・より効率的(スピード)
- ・予見性の向上

<課題の例>

- リスクに関する共通理解の醸成
- 新検査制度(ROP)導入への対応
- 最新の知見を反映した耐震設計手法の開発
- 民間規格基準の整備とエンドース 他

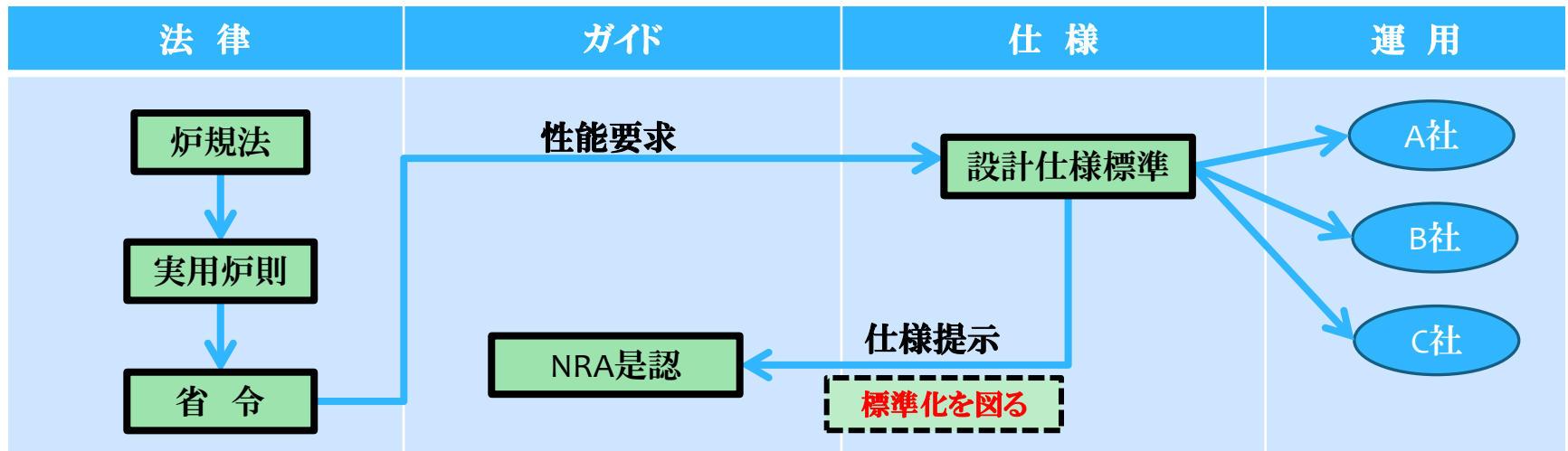
規制対応見直しの方向性

現 状



将 来

ワンボイス化
(個別対応から組織的対応)



広報・広聴

方針



広報・広聴機能

- ・ワンボイス化
- ・発信方法の多様化
- ・根拠情報の整備
- ・双方向コミュニケーション

発信(透明性、客観性)



フィードバック

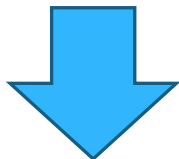
社会

＜課題の例＞

- 情報公開と説明責任
- 安全性向上に向けた取組みの見える化
- 原子力発電の価値(3E)に関する理解
- 放射線に関する理解 他

政策提言

方針



政策提言機能

・ワンボイス化

提言(透明性、客観性)



フィードバック

国

- ・国
- ・地方自治体
- ・社会

<課題の例>

- 原子力災害対策の充実に向けた支援
- 社会受容性向上に向けた制度的措置
- 新增設、海外展開の円滑推進
- 次世代炉等の技術開発 他

人材育成

方針



人材育成機能

- ・ネットワーク司令塔機能の強化
(中核的機関)
- ・人材育成戦略の検討
- ・国際標準となるプログラムの検討

提示
(透明性、客観性)



フィードバック

人材育成ネットワーク

- ・産官学
- ・IAEA他
海外機関

<課題の例>

- 人材育成ロードマップの進捗管理、調整
- 国内外向け教育訓練プログラムの一元的な提案
- 国際標準に適合する教育訓練プログラムの評価・認定 他

まとめ

- 当協会は、これまで主に、国民理解促進、国際協力、人材育成に取り組んできている。
- 多様な会員で構成されていること、地方にネットワークをもつなどの当協会の強みと、これまでの経験を活かして、産業界の意向を踏まえながら、電事連、JANSI、電中研の検討に協力する。
- 当協会の具体的なアクションについては、年内を目途にとりまとめる。